

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	赤穂市児童発達支援事業 あしたば園		
○保護者評価実施期間	2024年11月18日		2024年11月29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	60	(回答者数) 43
○従業者評価実施期間	2024年12月2日		2024年12月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	部屋全体が明るく、室内が清潔で利用者の活動スペースが確保されており、常に心地良い空間で過ごせるよう環境が整えられていること。※保護者アンケートでも43名中、42名が「はい」と回答した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が安心して過ごせるよう保育室、個別の部屋、機能訓練室、カウンセリング室等状況に応じ、利用できる部屋を確保している。さらに部屋全体が明るく、どの部屋を利用しても日が当たる場所が多く、心地良い空間となっている。</li> <li>・清掃については業者に委託し、1日2回、室内の清潔の保持に努めている。</li> </ul>	今後も利用者が安心して快適に過ごせるよう環境の整備に努める。
2	利用者の特性や良さや強みを理解し、かかわろうと努めていること。	利用者のことを理解し、関わり方や環境設定を工夫することももちろん、保護者に対しても、全職員、共感的支援を心がけている。また、保護者から相談があった場合、思いに寄り添い、一緒に方向性を導き出せるように面談の場を設けている。さらに利用者のみでなく、きょうだい児のことについても相談を受けている。	さらに充実を図るために、利用者だけでなく、きょうだい児も夏季保育など利用して参加する機会を設け、交流を深める。
3	長年の経験や蓄積されたスキルを生かして、丁寧に観察ができ、寄り添った助言をしていること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2名の言語聴覚士が、常勤で勤務している。また、理学療法士(2回/週)、作業療法士(2回/月)等、専門職が、様々な方向から、こどもにアプローチし、サポートしている。</li> <li>・外部講師による個別の教育相談や心理士によるカウンセリングも定期的実施している。</li> </ul>	引き続き、利用者や保護者のニーズに応えられるよう外部講師のスーパーバイズ等を受ける。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1			
2			
3			